## 火葬炉熱計算基本要件

当組合の火葬炉熱計算については、原則として下記の数値等を用いることとする。数値等を変更する必要がある場合は、数値等を用いる提案書類に理由を示すこと。

1 火葬時間 65分[再燃焼バーナー着火~主燃焼バーナー消火]

2 燃 料 都市ガス

3 周囲温度 1階炉室:20℃ 2階機械室:30℃ 外気:20℃

4 開始条件 全ての物質が炉室と同じ温度で開始する。

5 空 気 組 成 酸素:21% 窒素:79%

6 燃 焼 物 遺体:75kg 柩:15kg 副葬品:10kg [合計100kg]

7 排ガス温度 再燃焼炉出口温度:850℃

8 空気過剰係数 遺体:2.0 極:1.5 副葬品:1.8 都市ガス:1.1

9 被燃焼物の化学的組成物と低位発熱量

W (水分) —600 kcal/kg C (炭素) —8100 kcal/kg H (水素) —28700 kcal/kg O (酸素) —3600 kcal/kg S (硫黄) —2230 kcal/kg

10 都市ガスの組成等 メタン 89.60 % (mol%) エタン 5.62 %

エタン 5.62 % プロパン 3.43 % ブタン 1.35 %

11 燃焼物の組成

組成		遺体(75kg)		柩(15kg)		副葬品(10kg)		合計(100kg)	
		割合(%)	重量(kg)	割合(%)	重量(kg)	割合(%)	重量(kg)	割合(%)	重量(kg)
W	(水分)	65.00	48.75	12.00	1.80	20.00	2.00	52.55	52.55
С	(炭素)	23.00	17.25	47.00	7.05	43.00	4.30	28.60	28.60
Н	(水素)	2.78	2.08	4.50	0.68	4.00	0.40	3.16	3.16
Ο	(酸素)	3.22	2.42	34.00	5.10	27.50	2.75	10.27	10.27
S	(硫黄)	0.20	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15	0.15
N	(窒素)	2.60	1.95	1.00	0.15	3.50	0.35	2.45	2.45
Ah	(灰分)	3.20	2.40	1.50	0.22	2.00	0.20	2.82	2.82
	合計	100.00	75.00	100.00	15.00	100.00	10.00	100.00	100.00

## 12 燃焼計算区分

	区分		0	I	II	Ш
ž	経過時間	(分)	$0^{\sim}5$	5~10	$10^{\sim}20$	$20^{\sim}65$
	時 間	(分)	5	5	10	45
燃焼	再燃バ	ーナー				
	主燃バ	ーナー				
	柩	(15kg)				
	遺体	(75kg)				
	副葬品	(10kg)				

各経過区間において、遺体・枢・副葬品は均一に燃焼するものと仮定する。

燃焼状況にある区分